

令和8年度

【金 抜】

高知県

高知

市

郡

町

大字 丸ノ内1-2-20 高知県庁外

村

地区

実 施

高知県震度情報ネットワークシステム保守点検委託業務

積 算 書

第 回変更

施行方法	請 負	直 営
委託期間	令和8年4月1日から 令和9年3月 31日まで	
	令和8年2月24日 作成	
	令和 年 月 日 決裁	

見積参考資料

設計変更により請負金額を変更する必要が生じた場合において、変更した金額の110分の100に相当する額に千円未満の端数が生じたときは、その端数金額を切り捨てた金額に100分の10に相当する金額を加算した金額(1円未満の端数が生じたときは、その端数金額を切り捨てた金額)を変更請負金額として、変更の協議を行うものとする。

委託概要

令和8年度 高知県震度情報ネットワークシステム保守点検委託業務

保守点検 1式

起工又は変更理由

高知県震度情報ネットワークシステムの安定稼働の維持と適正な管理を行うため。

予 算 額

委託(対象)金額

	消費税込み金額	消費税抜き金額
予算額		
事業費		
委託対象金額		
その他		
工事雑費		

積算金額

	消費税込み金額
事業費	
委託対象金額	
その他	
工事雑費	

委託費内訳表

費目・工種・細別等	単位	数量	単価	金額	摘要
保守点検					
労務費	式	1			国土交通省電気通信関係技術者等単価 (2025. 3)
点検技術者	時間				
点検技術員	時間				
運転監視技術員	時間				
行動費	km				
測定器・機械損料					(労務費+行動費) ×15%
小計					

高知県震度情報ネットワークシステム点検記録表(高知県庁)

実施日時

設置場所 高知県庁

機番

実施者名

点検項目	No	点検内容	作業時間
ア. 機能・動作確認	1	装置テスト:各観測局を指定して装置テストを実行し、正常終了すること	
	2	折り返しテスト:折り返しテスト(通信テスト)を実行し、正常終了すること	
	3	一斉テスト:一斉テストを実施する。併せて時刻校正取得を行う	
	4	一斉テスト結果取得:一斉テストの結果を印字して取得する	
	5	テスト地震設定:テスト地震が正常に設定できること	
	6	テスト地震設定:テスト地震の設定が解除できること	
	7	計測震度計設定値変更:計測トリガ震度等の設定値を変更できること	
	8	震度データ要求:震度計から震度データの受信ができること。また印字ができること	
	9	波形データ要求:震度計から波形データの受信ができること。また印字ができること	
	10	ログデータの要求:震度計からシステムログの受信ができること	
	11	ログデータの要求:震度計から上位通信ログの受信ができること	
	12	ログデータの要求:震度計から感震器通信ログの受信ができること	
	13	ログデータの要求:震度計からテスト通信ログの受信ができること	
	14	ログデータの要求:震度計から時刻校正ログの受信ができること	
	15	ログデータの要求:震度計から設定値変更ログの受信ができること	
イ. システム設定	16	震度情報出力設定:震度情報出力条件の出力条件を変更できること	
	17	定期テスト設定:定期テスト設定通りに動作すること	
	18	警報設定:警報出力設定ができること	
	19	欠測局設定:欠測局設定ができ、テスト地震設定をしても表示されないこと	
	20	欠測局設定:欠測局設定の解除ができること	
ウ. システムテスト	21	気象台テスト:気象台テストにより気象台送信サーバにテストデータを送信できること	
	22	消防庁テスト:消防庁テストにより消防庁にテストデータを送信できること	
	23	プリンタテスト:プリンタにテスト印刷されること	
	24	警報接点テスト:CH1~CH8に設定した内容で、テストができること	
エ. データ参照	25	地震データ参照(印字・複写):地震データの参照ができ、印刷等ができること	
	26	波形データ参照(印字・複写):波形データの参照ができ、印刷等ができること	
	27	気象台再送:検索範囲を指定できること	
	28	ステータス参照:ステータスデータを参照できること	
	29	地震グループ作成:地震データのグループを作成できること	
	30	地震グループ参照:地震データのグループを参照できること	
オ. ハードディスク動作確認	31	RAID 監視ツールにてハードディスクの状態を確認する	
カ. 入力電源電圧確認	32	装置入力端子のAC電源電圧を測定し、測定値を備考欄に記入する	
キ. UPS動作確認	33	機器ACコンセントを抜き、バックアップ電源が供給されるか確認(10分程度)する	
ク. 画面表示	34	県内地図、全国地図、他県地図が表示できること	
ケ. 印字	35	設定情報、画面情報、システムログ、テスト結果、障害通知情報を印字し、異常がないか確認する	
コ. 各部取付状況・外観	36	ケーブル・コネクタ類の結合、端子部増し締め、FANユニット等定期交換部の劣化を確認する	
サ. 清掃	37	各ユニットを清掃する	
備考欄			

高知県震度情報ネットワークシステム点検記録表(市町村等)

実施日時

設置場所

機番

実施者名

点検項目	No	点検内容	作業時間
ア. 機能・動作確認	1	POWER LED(緑)1秒周期点滅。ERROR LED(赤)消灯を確認する	
	2	装置の状況を画面上に表示し、バッテリー電圧等が正常か確認する	
	3	GPS受信確認:受信状態の確認及び補足衛星数を確認する	
	4	過去の地震表示:過去の地震情報が表示されるか確認する	
イ. システム設定	5	設定内容を印刷し、各種パラメータの値が正常であることを確認する	
ウ. システムテスト	6	センサーテスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	7	バッテリーテスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	8	プリンタテスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	9	遠隔表示器テスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	10	警報接点テスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	11	ブザーテスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	12	通信テスト:保守モードからPINGテスト、ローカルループバックテスト、テスト地震送信を実行し、正常であることを確認する	
エ. データ参照	13	地震データ参照(印字・複写):地震データの参照ができ、印刷等ができること	
	14	波形データ参照(印字・複写):波形データの参照ができ、印刷等ができること	
	15	ログ履歴参照:各ログの履歴が参照できること	
	16	リアルタイム波形記録:リアルタイム波形が確認できること	
オ. モニタ画面確認	17	画面表示に異常がないことを確認し、輝度の調整、タッチパネルの調整をする	
カ. 入力電源電圧確認	18	装置入力端子のAC電源電圧を測定し、100V±10Vであることを確認する	
キ. UPS動作確認	19	機器ACコンセントを抜き、バックアップ電源が供給されるか確認(10分程度)する	
ク. 実機振動実験	20	計測部に振動を与え、震度情報が処理部に正常に表示されること 県庁送受信装置へ正常に送信されること(震度3以下で実施)	
ケ. データ保存	21	震度履歴、時刻校正履歴、感震器テスト履歴、バッテリーテスト履歴、 その他のテスト履歴、エラー履歴が正常に保存されることを確認する	
コ. 各部取付状況・外観	22	ケーブル・コネクタ類の結合、端子部増し締め、定期交換部品の劣化を確認する	
	23	筐体類を確認(傷破損、ネジなめ等がないこと)する	
	24	計測震度計処理部を確認(基礎固定状況、CFカードの装着等)する	
	25	計測部を確認(水平レベル等)する	
	26	プリンタ用紙が正常にセットされているか確認する	
	27	ルーターを確認(通信状態確認、高知県情報ハイウェイの動作状況も含む)する	
サ. 最終動作確認	28	県庁送受信装置から、ライフチェック、バッテリーチェック、感震器テストを実施して 通信確認が正常に行われること	
シ. 清掃	29	各ユニットの清掃、ハンドホール内の清掃をする	
備考欄			

高知県震度情報ネットワークシステム点検記録表(防災科研分岐)

実施日時

設置場所

機番

実施者名

点検項目	No	点検内容	作業時間
ア. 機能・動作確認	1	POWER LED(緑)1秒周期点滅。ERROR LED(赤)消灯を確認する	
	2	装置の状況を画面上に表示し、バッテリー電圧等が正常か確認する	
	3	過去の地震表示:過去の地震情報が表示されるか確認する	
イ. システム設定	4	設定内容を印刷し、各種パラメータの値が正常であることを確認する	
	5	時計設定:現在時刻を時報117で確認し、時刻を校正する(校正時誤差±1s以内)	
ウ. システムテスト	6	計測震度計テスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	7	バッテリーテスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	8	プリンタテスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	9	警報接点テスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	10	ブザーテスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	11	通信テスト:保守モードからPINGテスト、ローカルループバックテスト、テスト地震送信を実行し、正常であることを確認する	
エ. データ参照	12	ログ履歴参照:各ログの履歴が参照できること	
オ. モニタ画面確認	13	画面表示に異常がないことを確認し、輝度の調整、タッチパネルの調整をする	
カ. 入力電源電圧確認	14	装置入力端子のAC電源電圧を測定し、100V±10Vであることを確認する	
キ. UPS動作確認	15	機器ACコンセントを抜き、バックアップ電源が供給されるか確認(10分程度)する	
ケ. データ保存	16	震度履歴、時刻校正履歴、感震器テスト履歴、バッテリーテスト履歴、その他のテスト履歴、エラー履歴が正常に保存されることを確認する	
コ. 各部取付状況・外観	17	ケーブル・コネクタ類の結合、端子部増し締め、定期交換部品の劣化を確認する	
	18	筐体類を確認(傷破損、ネジなめ等がないこと)する	
	19	震度表示装置、コンバータボックス、プロトコル変換処理装置を確認する	
	20	プリンタ用紙が正常にセットされているか確認する	
	21	ルーターを確認(通信状態確認、高知県情報ハイウェイの動作状況も含む)する	
サ. 最終動作確認	22	県庁送受信装置から、ライフチェック、バッテリーチェック、感震器テストを実施して通信確認が正常に行われること	
シ. 清掃	23	各ユニットを清掃する	
備考欄			

高知県震度情報ネットワークシステム点検記録表(気象庁分岐)

実施日時

設置場所

機番

実施者名

点検項目	No	点検内容	作業時間
ア. 機能・動作確認	1	POWER LED(緑)1秒周期点滅。ERROR LED(赤)消灯を確認する	
	2	装置の状況を画面上に表示し、バッテリー電圧等が正常か確認する	
	3	過去の地震表示:過去の地震情報が表示されるか確認する	
イ. システム設定	4	設定内容を印刷し、各種パラメータの値が正常であることを確認する	
	5	時計設定:現在時刻を時報117で確認し、時刻を校正する(校正時誤差±1s以内)	
ウ. システムテスト	6	計測震度計テスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	7	バッテリーテスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	8	プリンタテスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	9	警報接点テスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	10	ブザーテスト:保守モードからテストを実行し、正常であることを確認する	
	11	通信テスト:保守モードからPINGテスト、ローカルループバックテスト、テスト地震送信を実行し、正常であることを確認する	
エ. データ参照	12	ログ履歴参照:各ログの履歴が参照できること	
オ. モニタ画面確認	13	画面表示に異常がないことを確認し、輝度の調整、タッチパネルの調整をする	
カ. 入力電源電圧確認	14	装置入力端子のAC電源電圧を測定し、100V±10Vであることを確認する	
キ. UPS動作確認	15	機器ACコンセントを抜き、バックアップ電源が供給されるか確認(10分程度)する	
ケ. データ保存	16	震度履歴、時刻校正履歴、感震器テスト履歴、バッテリーテスト履歴、その他のテスト履歴、エラー履歴が正常に保存されることを確認する	
コ. 各部取付状況・外観	17	ケーブル・コネクタ類の結合、端子部増し締め、定期交換部品の劣化を確認する	
	18	筐体類を確認(傷破損、ネジなめ等がないこと)する	
	19	震度表示装置、アレスタボックス(送信装置・受信装置)を確認する	
	20	プリンタ用紙が正常にセットされているか確認する	
	21	ルーターを確認(通信状態確認、高知県情報ハイウェイの動作状況も含む)する	
サ. 最終動作確認	22	県庁送受信装置から、ライフチェック、バッテリーチェック、感震器テストを実施して通信確認が正常に行われること	
シ. 清掃	23	各ユニットを清掃する	
備考欄			